

明神 太郎 さん テスト分析レポート

中学3年生

国語

2017年5月 1学期中間テスト

64 / 100点

得点率

64%

学校の採点区分 書く 8/16 読む 36/58 言語 20/26

目 全体所見

今回の国語（1学期中間テスト）は64/100点でした。内訳は、漢字・語句を問う「言語」が20/26点、文章を読み取る「読む」が36/58点、記述式の「書く」が8/16点です。大問六の漢字18問はほぼ全問正解しており、覚えて答える設問での取りこぼしはほとんどありません。読解も、記号で答える設問を中心に着実に得点できています。一方で「書く」は、4問すべてで部分点は得ているものの、満点に届いた設問がひとつもなく、得点率がちょうど半分にとどまりました。白紙で出した設問はひとつもありません。書けていないのではなく、書いた答えがあと一歩で満点に届いていない——これが今回の中心的な課題です。

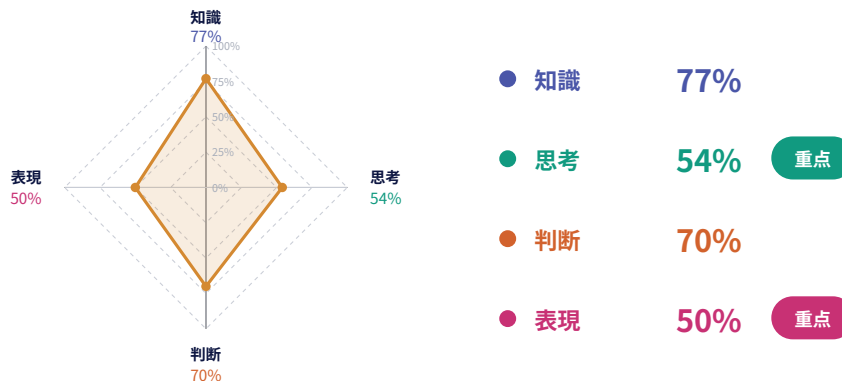
📊 答案から見た傾向

- 01 大問六の漢字18問（読み8問・書き10問）はほぼ全問正解、大問五の慣用句・四字熟語も安定しています。言語分野で20/26点を確保できており、今回いちばんの土台になっています。
- 02 記号で答える設問は、三つの長文すべてで正答が目立ちます。本文の内容や筆者の主張そのものは、正確につかめています。
- 03 【書く力】の記述4問（大問一9・大問二3と7・大問三6）は、いずれも部分点にとどまり合計8/16点でした。無解答はゼロで、どの設問も答えの方向は本文に沿っています。

明神 太郎 さん 2017年5月 1学期中間テスト（国語）

4観点の得点率

「重点」の2観点を下段で解説しています



観点別アドバイス

表現 今回の重点

記述4問すべてで部分点は取れていますが、満点に届いた設問がありませんでした。8/16点というのは、答えの方向は合っているのに、あと一言が足りていない状態を示しています。書いたあとに「設問の条件（字数・語尾・使う語）を満たしているか」を指差しで確認する。この一手間を毎回さはむところから始めます。

思考 今回の重点

記号選択（判断70%）に比べて、本文から指定字数で抜き出す設問や内容をまとめる設問（思考54%）が伸びていません。選べるのに、自分で範囲を切り出すと精度が落ちる形です。抜き出しは「指定字数を先に指で数え、その長さに合う部分だけを探す」順番に変えると、候補が一気に絞れます。

学習アドバイス

全体として64点。漢字・語句の「知識」が77%、記号選択の「判断」が70%と、答えが一つに定まる設問では安定して得点できています。一方、自分で言葉を切り出す「思考」が54%、自分で言葉を組み立てる「表現」が50%と、手を動かして書く設問になると得点率がはっきり下がります。四つの観点は、答えが「与えられている」ものから「自分で作る」ものへ向かうほど、きれいに数字が落ちていきました。読む力が足りないのではなく、読み取ったものを答案の形にする工程が弱い、というのが今回の課題です。

太郎さんへ

漢字はほぼ完璧、記述も4問すべてで自分の言葉を書き切っていました。白紙がひとつも無かったことが、いちばんの強みです。あとは書き終えたあとに設問へ戻って確認するだけ。その一手間を、一緒に習慣にしていきましょう。